



地域を見つめる経済情報誌

## 長野しんきん 北信地区経済動向



「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけます。

### 月例調査レポート



志賀高原 地獄谷  
山の人気者

「今日もお客さんがえーかんおいだね」  
「おらほがおべちゃんに入るのがそんなに珍しいかや」  
そんな猿たちの会話(方言)が聞こえてきそうな、志賀高原、地獄谷野猿公園。  
コロナの影響で途絶えていたインバウンドが復活。この日もスノーモンキーを  
見るためにNAGANOを訪れた外国人観光客で賑わいをみせていました。  
『春風に 猿も親子の 湯治かな』 一茶(文政句帖)

- 長野しんきん 月例調査レポート ..... 2
- 企業アンケート 2023の「経営見通し」② ..... 6
- インタビュー 変革期の経営ビジョン ..... 8
- 北信濃 明治時代の風景 (11) 栗田城跡 ..... 10

「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラー  
にてご覧いただけます [長野信用金庫 すかい](#)



 長野信用金庫

# 概況 全産業

## 生産は2カ月ぶりの低下 前年同月比は2カ月連続の低下

### ◇2022年11月の長野県鉱工業指数

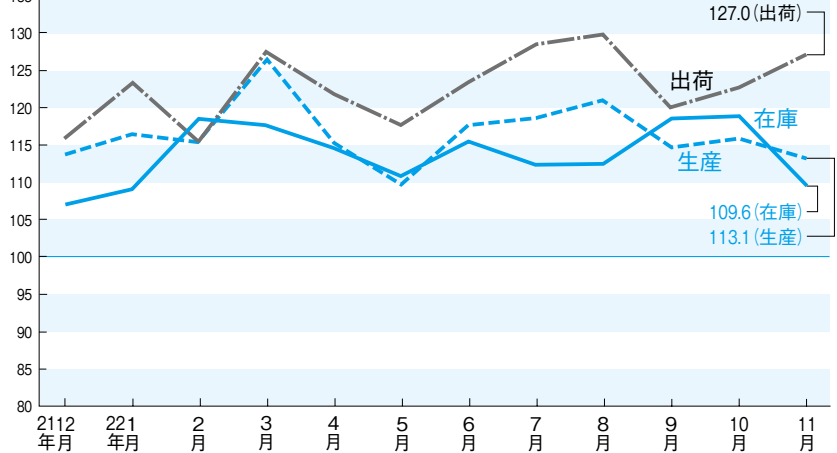
(速報：季節調整済指数)

生産は113.1(前月比▲2.2%)で2カ月ぶりの低下、出荷は127.0(同+3.4%)で2カ月連続の上昇、在庫は109.6(同▲7.9%)で4カ月ぶりの低下となりました。

### ◇前年同月比(原指数)

生産は116.9(前年同月比▲5.2%)で2カ月連続の低下、出荷は126.0(同▲0.9%)で6カ月ぶりの低下、在庫は116.3(同+12.4%)で14カ月連続の上昇となりました。

●長野県鉱工業の生産・出荷・在庫指数(季節調整済)の推移  
(2015年=100/資料：長野県)



- [生産] 上昇…情報通信機械、輸送機械、プラスチック製品など9業種  
低下…はん用・生産用・業務用機械、電子部品・デバイス、電気機械など8業種
- [出荷] 上昇…はん用・生産用・業務用機械、情報通信機械、化学など7業種  
低下…電子部品・デバイス、電気機械、金属製品など10業種
- [在庫] 上昇…電子部品・デバイス、金属製品、窯業・土石製品など7業種  
低下…はん用・生産用・業務用機械、化学、情報通信機械など9業種

## 月例調査

### 全産業の「売上高」は減少

前回調査 2022年11月

### ◇1月調査による[北信地区の経済状況]

全産業(不動産業・旅館業除く)の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(35

%)が9ポイント減少、「減少」割合(28%)が9ポイント増加、「不変」割合(37%)は横ばい、全体としては減少の状況です。

### ●売上高(生産高・施工高)前年比「増加・不変・減少」割合

矢印は前回調査比 (3ポイント以上の動き) ↑ 増加 → 不変 ↓ 減少  
🔄 改善 ⇄ 不変 📉 悪化

業種	前回	今回	前回	今回	前回	今回	改善/悪化	調査対象
全産業	43.5 ↑	35.1 ↓	37.2 ↑	37.2 →	19.3 ↓	27.7 ↑	改善	207社(回収率90.8%) 30人未満 73.9% 30人以上 26.1%
製造業	36.5 →	35.1 ↓	36.5 ↓	37.2 →	27.0 ↑	27.7 ↑	悪化	193社(回収率84.6%) 30人未満 75.1% 30人以上 24.9%
建設業	36.5 →	35.1 ↓	36.5 ↓	37.2 →	27.0 ↑	27.7 ↑	悪化	64社(回収率79.0%) 30人未満 64.1% 30人以上 35.9%
卸小売業	23.8 ↓	23.8 ↓	45.2 ↑	37.1 →	31.0 ↑	27.4 ↑	悪化	62社(回収率87.3%) 30人未満 87.1% 30人以上 12.9%
サービス業	57.1 ↑	57.1 ↑	28.6 ↓	37.1 →	14.3 ↓	27.4 ↑	改善	42社(回収率87.5%) 30人未満 85.7% 30人以上 14.3%
輸送業	33.3 ↓	33.3 ↓	22.3 ↓	37.1 →	44.4 ↑	27.4 ↑	悪化	8社(回収率100.0%) 30人未満 87.5% 30人以上 12.5%
外食業	62.5 ↓	62.5 ↓	25.0 ↓	37.1 →	12.5 ↑	27.4 ↑	悪化	9社(回収率90.0%) 30人未満 33.3% 30人以上 66.7%
								8社(回収率80.0%) 30人未満 50.0% 30人以上 50.0%

# 製造業

食料品、金属加工品、一般機械、電気機械、自動車部品、精密機械

## 「生産高」金属加工が増加するも、全体は減少

製造業の生産高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(37%)が1割減少、「減少」割合(27%)が8割増加、「不変」割合(37%)が7割減少、全体として減少の状況です。

### ●生産高前年比「増加・減少」割合(%)

製造業	前回	37.7	43.5	18.8
	今回	増加 36.5	不変 36.5	減少 27.0
食料品	30.8	46.1	23.1	
金属加工	45.5	27.2	27.3	
一般機械	22.2	44.5	33.3	
電気機械	0.0	60.0	40.0	
自動車部品	50.0	50.0	0.0	
精密機械	33.3	16.7	50.0	

【業種別】 増加…金属加工

減少…食料品・一般機械・電気機械・自動車部品・精密機械

【機械稼働】 (前回比) 稼働率 横ばい

上昇割合 (16%) → 16%

下降割合 (16%) → 17%

【受注状況】 受注量(前回比) 下降

増加割合 (21%) → 24%

減少割合 (13%) → 18%

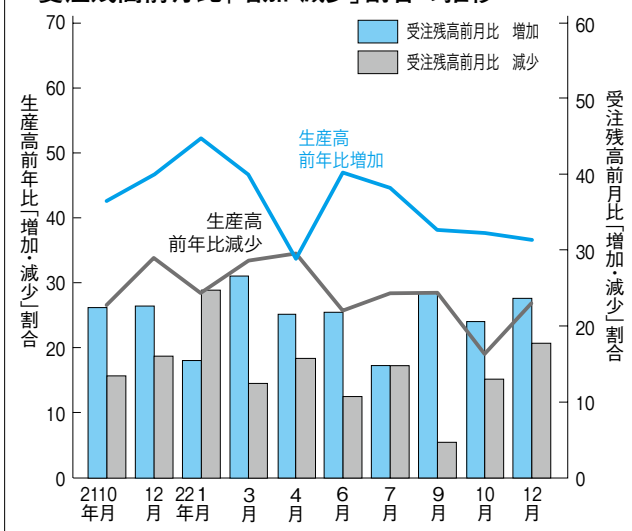
受注残高(1.8ヵ月) → 1.7ヵ月

【受注基調】 (前回比) 下降

上昇割合 (21%) → 22%

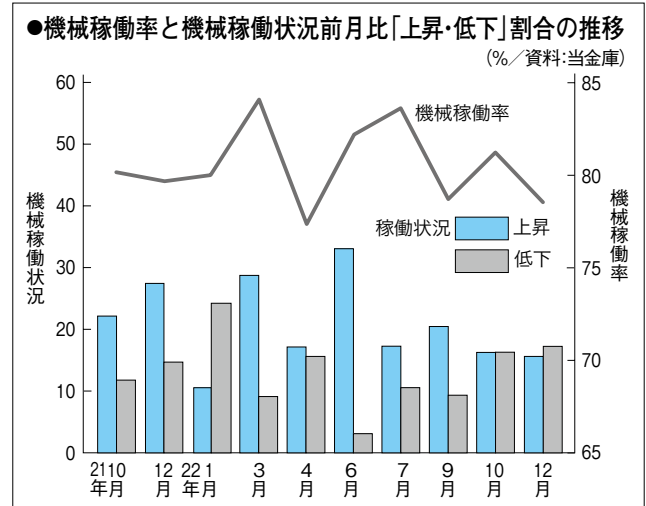
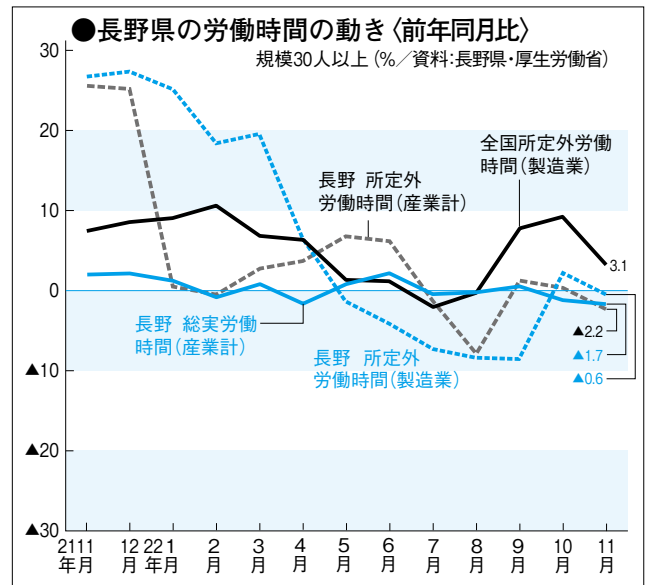
下降割合 (13%) → 21%

### ●生産高前年比「増加・減少」割合と受注残高前月比「増加・減少」割合の推移(%/資料:当金庫)



### 企業からのコメント

- ★“コロナ禍”が過ぎ、家庭での乾麺等の需要も減ったことから受注が減少傾向。今年は、原材料・資材・エネルギーの値上りへの対応が課題となる。(食品)
- ★“新型コロナ感染”“ウクライナ情勢”などの影響によって受注の先行きが不透明。電気・ガス・原油などエネルギー価格の高騰に加え、副資材の価格値上げによって収益に及ぼす影響が大きい。(トラック用部品)
- ★制御盤・パソコン関連において、部材入手可能なものと困難なものとのバラツキが大きい。(制御盤)
- ☆“コロナ禍”の行動規制が緩和されて観光客が増え、小売比率が上がっている。(味噌)
- ★原料価格の上昇がまだ続いていて、調達コストが下げられない。為替の相場も安定せず厳しい状況。(食品加工)



「施工高」全ての業種が減少

**概 況**

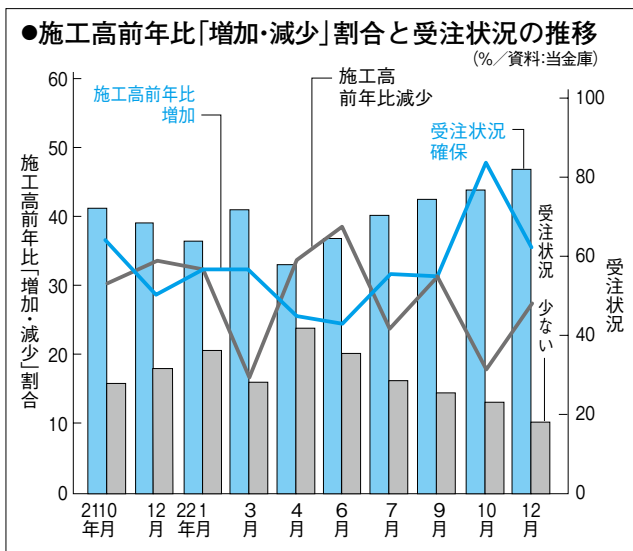
建設業の施工高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(36%)が11ポイント減少、「減少」割合(27%)が10ポイント増加、「不変」割合(37%)が1ポイント増加、全体としては減少の状況です。

●施工高前年比「増加・減少」割合(%)

建設業	前回	47.0	36.3	16.7
	今回	増加 35.5	不変 37.1	減少 27.4
総合建設業		45.5	36.3	18.2
土木工事業		25.0	25.0	50.0
建築業		33.3	47.7	19.0
各種設備業		30.0	30.0	40.0

【業種別】減少…総合建設・土木工事・建築・各種設備

【受注状況】受注残高(前回比) 改善  
 「多い・適正」割合 (77%) → 82%  
 「少ない」割合 (23%) → 18%



**企業からのコメント**

★協力会社・下請け会社含めて“人手不足”が深刻な状況。これが外注費の増加要因となっている。

(総合建設業)

★建材価格が高止まり状況。外国製の設備機器(蓄熱暖房機・食洗機など)の納期の遅延が目立つ。(一般住宅)

★☆“人手不足”による工事進捗遅れの影響で2～4月が超繁忙となる可能性が大きい。(内装仕上工事)

**12月の公共工事** (東日本建設業保証取扱分)

長野県の4月～12月の発注合計は、1,666.1億円(前年同期比▲15.6%)となりました。前年比マイナスは「国」の302.8億円(同▲32.1%)、「県」の538.4億円(同▲4.8%)、「その他」の285.4億円(同▲32.9%)で、「市町村」は532.8億円(同±0%)です。

北信地区市町村の発注合計は157.1億円(同+21.6%)で、うち長野市は64.7億円(同+16.4%)でした。

●建設業保証取扱分から見た長野県と北信地区市町村の公共工事の状況(2022年12月/2022年4月～12月累計)

(単位=百万円/資料:東日本建設業保証(株))

		2022年12月	前年同月比	2022年4月～12月	前年同期比
長野県	国	1,833	▲71.7%	30,284	▲32.1%
	県	3,442	+29.5%	53,841	▲4.8%
	市町村	2,509	▲17.2%	53,279	±0%
	その他	3,756	+661.3%	28,540	▲32.9%
	合計	11,541	▲8.9%	166,609	▲15.6%
北信地区(内長野市)	市町村	294	▲71.9%	15,706	+21.6%
	(内長野市)	142	▲61.2%	6,474	+16.4%

**4～12月の新設住宅着工戸数**

長野県の4～12月の新設住宅着工戸数は9,649戸(前年同月比+3.4%)でした。持家が5,182戸(同▲9.8%)、貸家が2,748戸(同+23.2%)、分譲が1,685戸(同+28.8%)、給与が34戸(同▲27.7%)です。

北信地区の4～12月の新設住宅着工戸数は2,571戸(同▲3.4%)でした。持家が1,323戸(同▲17.2%)、貸家が712戸(同+7.1%)、分譲が533戸(同+33.9%)、給与が3戸(同+200.0%)です。

●北信地区と長野県の新設住宅着工戸数

(2022年12月/2022年4月～12月累計)

(資料:長野県)

		持家	貸家	分譲	給与	合計
北信地区	12月	141戸	153戸	44戸	0戸	338戸
	(内長野市)	65戸	101戸	29戸	0戸	195戸
	前年同月比	▲20.8%	+565.2%	▲8.3%	—	+35.7%
	(内長野市)	▲33.7%	+818.2%	▲17.1%	—	+35.4%
	4～12月	1,323戸	712戸	533戸	3戸	2,571戸
前年同期比	▲17.2%	+7.1%	+33.9%	+200.0%	▲3.4%	
長野県	12月	596戸	363戸	149戸	10戸	1,118戸
	前年同月比	+3.8%	+155.6%	+10.4%	▲75.0%	+25.5%
	4～12月	5,182戸	2,748戸	1,685戸	34戸	9,649戸
前年同期比	▲9.8%	+23.2%	+28.8%	▲27.7%	+3.4%	



## 卸小売業

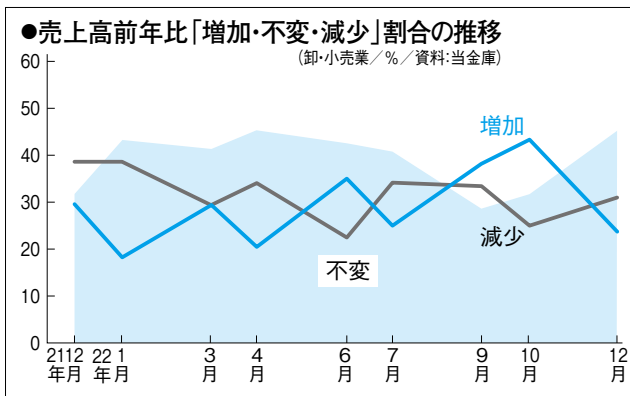
卸売業、小売業

### 「売上高」卸売が増加、小売は減少

卸小売業の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(24%)が19ポイント減少し、「減少」割合(31%)が6ポイント増加、「不変」割合(45%)が13ポイント増加し、全体として売上げは減少の状況です。

#### ●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

卸小売業	前回	43.2	31.8	25.0
	今回	増加 23.8	不変 45.2	減少 31.0
卸売業		25.0	56.2	18.8
小売業		23.1	38.4	38.5



【業種別】 増加…卸売業 減少…小売業

12月の消費者物価指数(長野市) 2020年基準=100

◇総合指数(確報値)……105.3 (16カ月連続プラス)

(前月比+0.2%、前年同月比+4.8%)

上昇…「光熱・水道」「諸雑費」「交通・通信」「住居」  
下落…「家具・家事用品」「被服及び履物」「食料」  
「教養娯楽」「保健医療」

◇生鮮食品を除く総合指数…105.3 (17カ月連続プラス)

(前月比+0.3%、前年同月比+5.0%)

#### 企業からのコメント

- ★特に中古車市場の価格上昇が目立つ。
- ☆お客様が事前にインターネット等で調べて各種情報を収集しているため、商品・サービスの内容や価格・支払等に関してシビアになっているような気がする。(以上自動車販売・整備)
- ☆志賀高原のホテル・旅館への入込みが好調で、売上げは増加しているが、仕入れ価格も増加している。(食料品)
- ★花鉢の売上げは減少傾向にある。また、価格に原材料費等の値上り分を転嫁出来ない実状もある。(花鉢卸)

## サービス業

サービス、輸送、外食、観光、不動産

### 「売上高」サービスは増加、輸送・外食は減少

サービス業 売上高前年比「増加」割合は19ポイント増加の57%、「減少」割合は11ポイント減少の14%、「不変」割合は9ポイント減少の29%と、売上げは増加の状況です。

輸送業 売上高前年比「増加」割合は7ポイント減少の33%、「減少」割合は14ポイント増加の44%、「不変」割合は8ポイント減少の22%と、売上げは減少の状況。タクシーは減少、運輸は増加です。

外食業 売上高前年比「増加」割合は7ポイント減少の63%、「減少」割合は13ポイント増加の13%、「不変」割合は5ポイント減少の25%と、売上げは減少の状況です。

観光(旅館)業 入込数は平均で前月比66ポイントの増加、前年同月比は18ポイントの増加で、宿泊利用は伸びています。

不動産業 需給状況は前回に比べ、「双方手控え・どちらも低調」が3ポイント減少の40%、「引合いやや増加」が4ポイント減少の10%でした。

#### 企業からのコメント

- ★乗務員が不足し、受注できないケースが目立つ。取りこぼしが無いよう、何とか乗務員を増やしたい。外国人“インバウンド”乗客も増えたが、ほとんどマスクしていないのが実情である。(タクシー)
- ★貨物量は特段増えてはいないが、“ドライバー不足”が深刻な状況で繁忙感が続いている。(トラック輸送)
- ★仲居さんの人手不足が深刻な経営上の問題。(日本旅館)

#### ●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

サービス業	前回	37.5	37.5	25.0
	今回	増加 57.1	不変 28.6	減少 14.3
輸送業	前回	40.0	30.0	30.0
	今回	33.3	22.3	44.4
うちタクシー業		8.8		100.0
うち運送業		42.9	28.5	28.6
外食業	前回	70.0	30.0	0.0
	今回	62.5	25.0	12.5

北信地区の景気判断 **+56** [良い]64% [悪い]8%

自社の業況が上向く転換点 「改善の時期は分からない」48%

アンケート  
2023年の経営見通し ②  
2022年12月調査

**北信地区の景気判断** [良い]64%、[悪い]8%の景気判断D・Iは+56で、昨年より75ポイント改善しています。

**自社の業況が上向く転換点** 「すでに上向いている」は8%で、昨年より5ポイント低下。「業況改善の時期は分からない」は48%となり、昨年より14ポイント低下しています。

いえない」は26%でした。[良い]から[悪い]を引いた北信地区景気判断D・Iは+56となり、昨年(▲19)より75ポイント改善しています。

**従業員規模で見ると**、30人未満の+57([良い]65%・[悪い]8%)に対して、30人以上は+55([良い]63%・[悪い]8%)となりました。

### 北信地区の景気判断

昨年より75ポイント改善 ▲19 → +56

「北信地区の景気を、どのように感じているか」を聞きました。

全産業では、「良い」(8%)と「やや良い」(56%)を合わせた[良い]は64%、「やや悪い」(8%)と「悪い」(0%)を合わせた[悪い]は8%、「どちらともいえない」(26%)

### 業種別

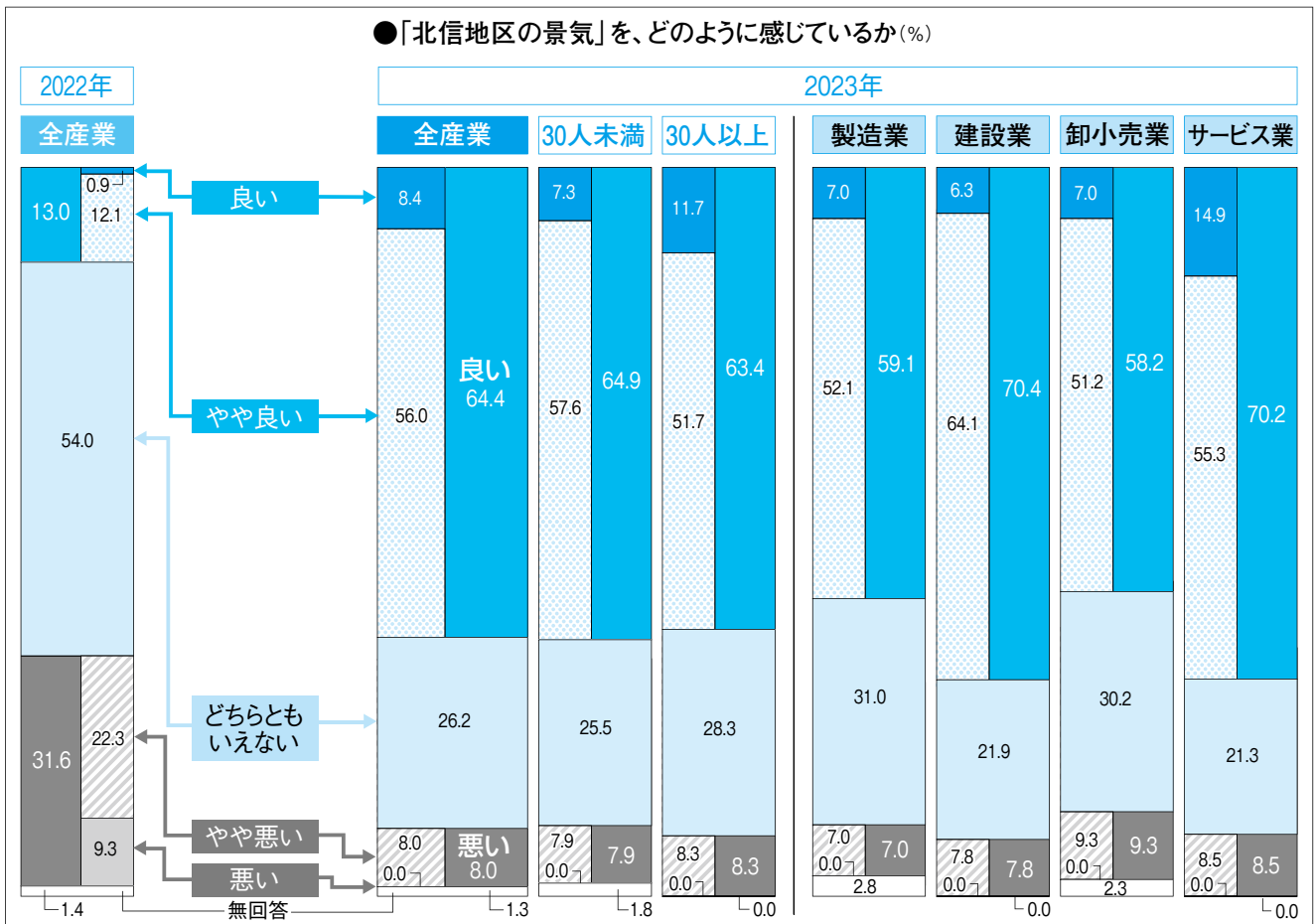
全産業より低いのは製造業と卸小売業

#### ◇ 4業種(全産業比)

**製造業** [良い]59%、[悪い]7%の景気判断D・Iは+52で、30人未満・30人以上ともに+52です。

**建設業** [良い]70%、[悪い]8%の景気判断D・Iは+63で、30人未満が+63、30人以上が+60です。

**卸小売業** [良い]58%、[悪い]9%の景気判断



D・Iは+49で、30人未満が+45、30人以上が+71です。

**サービス業** [良い]70%、[悪い]9%の景気判断 D・Iは+62で、30人未満が+68、30人以上が+53です。

### 業況が上向き転換点

「改善の時期は分からない」48%に

「自社の業況が上向き転換点は、いつ頃になると見通しているか」を聞きました。

全産業では、「すでに上向いている」が8%、「3カ月以内」が4%、「6カ月以内」が13%、「1年後」が15%、「2年超」が7%となりました。「業況改善の時期は分からない」は48%で、昨年より14%低下しています。

従業員規模で見ると、「すでに上向いている」が30人未満5%に対して30人以上17%の12%差、「3カ月以内」が30人未満6%、30人以上0%の6%差となりました。「分からない」は30人未満51%に対して30人以上42%の9%差となりました。ほかは僅差です。

### 業種別

「すでに上向いている」サービス15%～建設3%

#### ◇4業種(全産業比)

**製造業** 「6カ月以内」(21%)が他業種に比べ最も高くなりました。他方「分からない」(41%)と「2年超」(4%)、「上向きは困難」(0%)は他業種に比べ最も低くなっています。

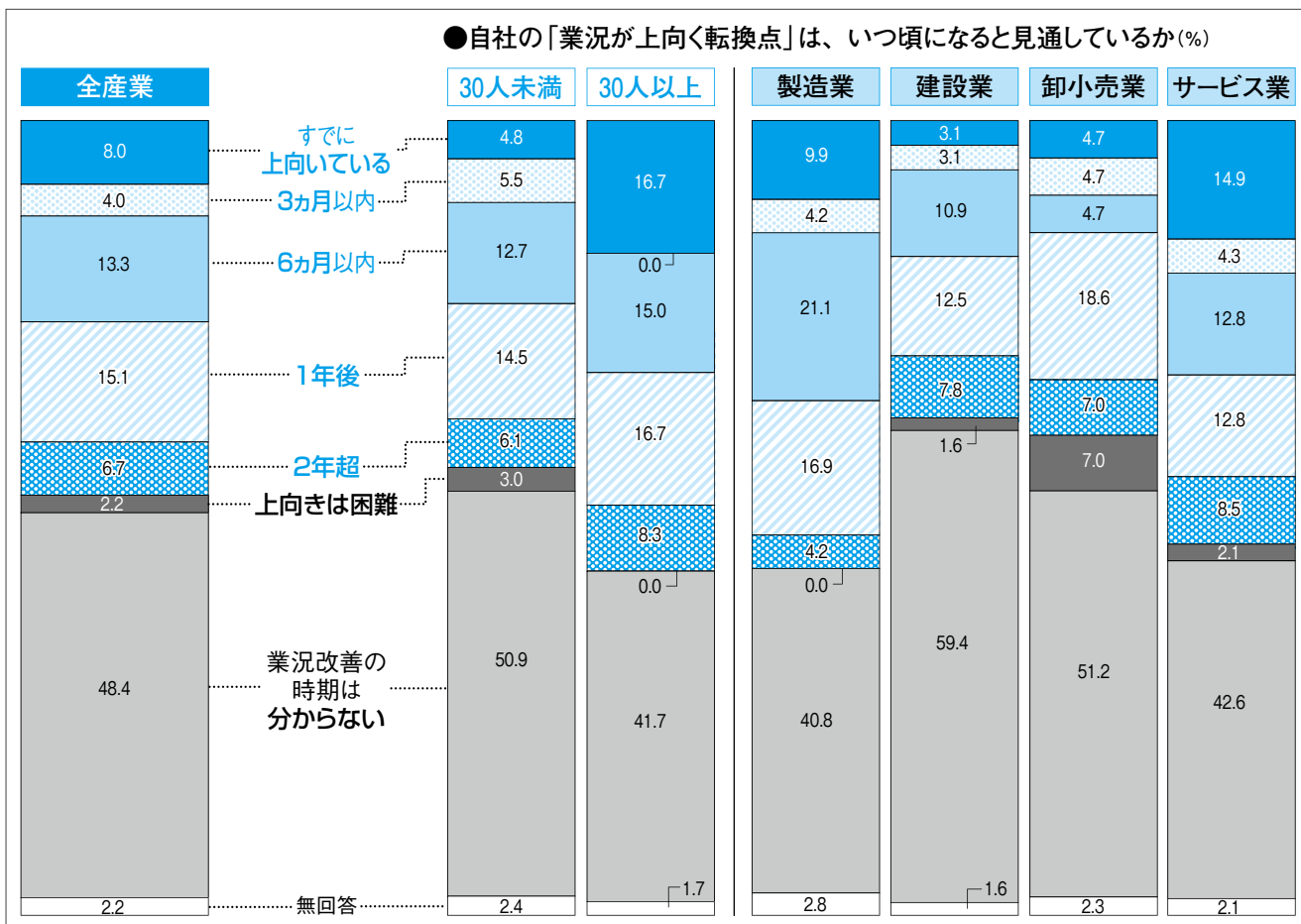
**建設業** 「分からない」(59%)が他業種に比べ最も高くなりました。他方「1年後」(13%)、「すでに上向いている」と「3カ月以内」はともに3%で他業種に比べ最も低くなっています。

**卸小売業** 「1年後」(19%)、「上向きは困難」(7%)、「3カ月以内」(5%)は他業種に比べ最も高くなりました。他方「6カ月以内」(5%)は他業種に比べ最も低くなっています。

**サービス業** 「すでに上向いている」(15%)、「2年超」(9%)は他業種に比べ最も高くなりました。

#### ◇次号は「業界の市場の将来性」と

「重点的に取組みたい経営課題」を予定





## 創業100年の伝承の技で 「ほんまもんの家造り」

野村建設株式会社  
代表取締役社長 野村 和正さま

### ●創業の経緯をお聞かせください…

私の曾祖父・野村七三栄が1907年(明治40)に、建築大工業を起業したのが始まりです。「社寺建築」も手掛けていたことから善光寺の宿坊や仲見世などにも出入りしていました。

戦後、組織として機能させていく方が良いとの判断から1956年(昭和31)に、祖父の野村憲市が野村建設を設立して現在に至っています。

2007年(平成19)に創業100周年を迎えましたが、創業以来の伝統と技は、現在の職人たちにも「大工技能」として脈々と受け継がれています。そしてこれこそ、自社で大工職人をかかえる野村建設の強みと考えています。

### ●社長になられた経緯をお聞きます…

私は大学卒業後、司法書士の資格を取得、職務に就きました。野村建設には、一族のひとりとして役員に名前を置き、「何かあった時には、法律家としてお手伝いする」との距離感を保っていました。そのため一歩引いた位置で会社を見ていました。

しかし、令和元年(2019)に長野市を襲った台風19号の水害が、私の意識を大きく変えました。穂保にある当社工場が浸水し、私も再建に協力しようとしたのですが、大工たちは、工場の復興よりも、お客様のお宅がある長沼地区での片付けに奔走していたのです。私も会社のネームが入った作業着を着て泥の片付けに現地へ行きました。

その際、当社とは取り引きのない複数の方から「いつも、この辺に来ていた建設業者さんだよ。我が家も見てもらえませんか」と声をかけられました。後日に行った松代地区でも同様なことがありました。

そのとき、これが100年続いた企業とお客様とのお付き合いの結果であり、地域の様々な方から頼られているという“地元密着”の姿を痛感しました。建設業は災害が発生するとその復旧に必要な業種のひとつです。お付き合いがある業者さんにも助けられ、“人の心の温もり”も感じました。この現実を途切れさせてはいけません。そして、前社長も70歳間近でしたので、私が2020年(令和2)に五代目として継承することにしました。

### ●業務に関してお聞きます…

当社は「木造建築」にこだわっています。住宅とは、「安らぎが得られる場所」でなくてはなりません。安らぎを得るには、自然と同じ様な空間を造ることだと考えます。無垢の木の家を作り続ける理由。それは“住む人の健康と自然環境への配慮”からです。木は生き物で呼吸をしています。健康に良くない資材を使わず、無垢の材料を使い、長持ちする家づくりが、結果的に自然への配慮だと考えています。それが、当社の提唱する「ほんまもんの家造り」なのです。

住宅は建てて終わりではなく、施主さまとの関係は完成してから始まります。いつでも顔を出せる間柄でありたいと思っています。お宅へ伺いお茶をいただくとき、お茶碗がどこに入っているか知っていて「うちの子どもや孫が家を建てるときもお願ひね」そんな言葉が聞けるような、膝を付け合わせた付き合いができればと思っています。それが、創業時と変わらないスタンスなのです。

最近、「手作り雑貨(まな板やペンスタンド)」を作っています。大工が暇なときに“何か作ってみるか!”の発想でやり始めました。住宅を建てるとき、木材の端材が出ます。それを利用して作り、引き渡しの際に施主さまにプレゼントして喜ばれています。ロッキングチェアなどを作る“大人の木工教室”も好評です。また、保育園に“積み木”を無償で差し上げています。

### ●コロナ禍の対応をお聞かせください…

世の中の世相がコロナによって大きく変わってしまいました。まずは人と会えなくなり、お



お客様との面談の機会も減りました。また、「ウッドショックやアイアンショック」といわれる住宅資材の不足と価格の高騰が発生しました。最近のコロナ禍において、お客様の要望も変わってきた感じがします。企業からは、業態の変化に合わせた建物の注文があり、個人住宅に関しては「インターネット専用の部屋が欲しい」という要望もあります。また、家にいる時間が長くなったので、お客様のリフォームの要望も多岐にわたり増えました。快適な住まいづくりや、家に対する意識が強くなってきたと感じています。

家づくりは、お客様とのコミュニケーションからカタチができていくものですから、お会い出来る機会が少なくなっていることが残念です。

●今後の夢や方針をお聞きします…

ひとつは「職人の養成」です。当社は神社仏閣も手がけていますから“宮大工”と同じ技術を継承しなくてはなりません。街の寺や神社は、地元の皆さんの心の拠り所ですから、修繕できなくなると困ります。一人前の職人になるには、1年や2年で身につくものでなく、10年で半人



施工事例

前と言われる世界です。建設会社には職人を育てる使命があると考えています。100年続けてきて、さらに、これからも地元の皆さまに頼っていただける会社にしていくことが目標です。

もうひとつは、現在の建築土木業界は男社会ですが、“女性も働ける環境”を作らないといけません。当社では、現場責任者になれる女性があります。男性との体力差はありますが、それを補ってできるようにすることが大切なことだと考えています。

私が社長に就任して8名の新入社員が増え、従業員の平均年齢が一気に下がりました。新卒のうち4名は、建設とは無縁の勉強をしてきた子ども達ですが、建設業界に夢や希望を抱いて我が社を選んでくれたので、大事に育てていきたいと思っています。



●事業の概要

創業 1907(明治40)年  
 資本金 5,000万円  
 従業員 48名(男39名・女9名)  
 業務 一般建築物施工  
 所在地 長野県長野市桐原1-5-1  
 URL <http://www.nomuraco.net/aboutus/>

●沿革

明治40(1907)年 野村七三栄が創業  
 昭和31(1956)年 野村建設設立  
 昭和34(1959)年 野村憲市が代表取締役就任  
 昭和63(1988)年 野村泰久が代表取締役社長に就任  
 平成12(2000)年 野村文孝が代表取締役社長に就任  
 平成19(2007)年 創業100周年  
 令和2(2020)年 野村和正が代表取締役社長に就任

# 北信濃 明治時代の風景



## (11) 栗田城跡

長野郷土史研究会会長

小林 一郎

今年度は、明治10年代に各町村が長野県に提出した町村誌に描かれた挿絵を紹介します。今回は明治13年(1880)にできた『栗田村誌』の、栗田城跡の図です。

### 栗田村

長野駅東口の南東部一帯が旧栗田村で、現在は長野市大字栗田となっています。長野駅の住所も、長野市大字栗田です。江戸時代は主に天領(幕府領)でしたが、一部は戸隠神領でした。明治22年(1889)に近隣の村々が合併して芹田村ができると、その役場は栗田村に置かれました。

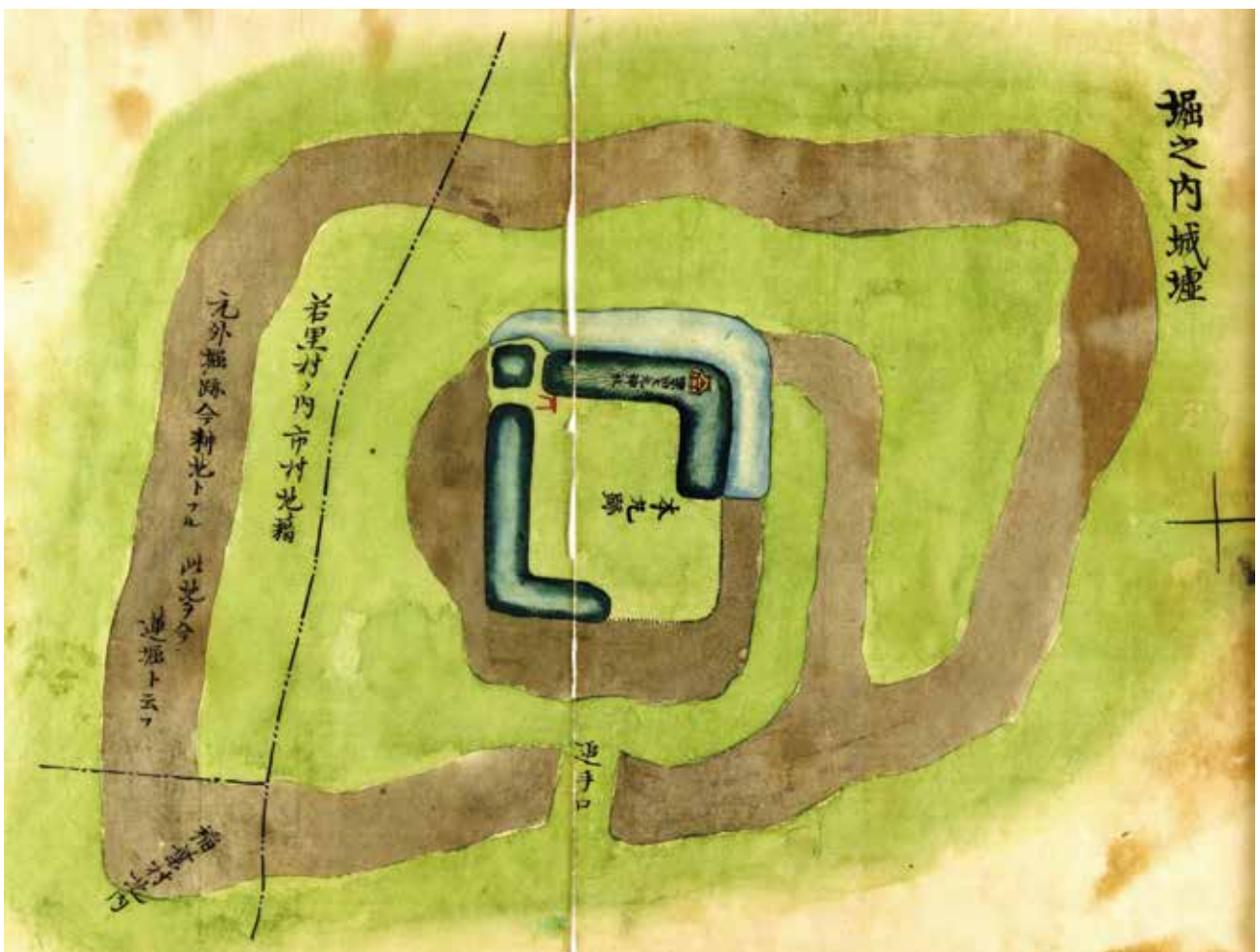
その栗田の中央やや東寄りにあるのが、中世に栗田氏が居城としていた栗田城の跡で、その本丸の北西部は現在は水内惣社日吉大神社の境内となっています。

### 絵を読む(本丸と内堀)

右上に「堀之内城墟」と書いてあります。栗田城は、別名を堀之内城といいます。「墟」は「跡」と同じです。右が北、左が南です。

中央に「本丸跡」があり、本丸の北西と南東には、それぞれ鉤の手になった土塁があります。北西の土塁上には、「栗田大元神社」がまつられています。この土塁は現在もあって、その上に神社がありますが、社名は変わっています。南東の土塁は現在はなくなって、住宅地になっています。

本丸の土塁の外側を内堀が取り巻いています。北西の土塁の外側には水のある堀が描かれていますが、それ以外は堀跡があるだけです。この実際に水のあった堀は昭和48年(1973)に埋められて、現在は日吉公園になっています。



『栗田村誌』(長野県立歴史館蔵)より



## 絵を読む(外堀)

本丸と内堀を、外堀が取り囲んでいます。ここまで含めた城跡全体の大きさは、『栗田村誌』によれば東西6町30間余(710m)、南北10町(1090m)もあります。これは北の東口通りと南の芹田小伊勢宮線の内側にほぼ収まる大きさで、少し大袈裟です。

しかしこの図によれば、南は「若里村ノ内市村地籍」(若里2丁目)を含んでいます。図にはこの地区の外堀跡について、「元外堀跡、今耕地トナル。此地ヲ今蓮堀ト云フ」と書いてあります。また「稲葉村地内」にも外堀が掛かっています。これは上千田地区で、芹田小学校の西側付近です。

城の「追手口」(大手口)は東側で、現在はこの付近に浄土宗の円通院があります。

## 栗田氏

栗田城に居住したのは栗田氏で、信濃源氏村上氏の分流とされています。鎌倉時代の歴史書『吾妻鏡』には、木曾義仲に味方して戦った「栗田寺別当大法師範覚」という人物が記されています。

栗田氏は善光寺と戸隠をその支配下に置いて、室町時代には、栗田城に住んで善光寺を支配する里栗田と、戸隠に住んで戸隠を支配する山栗田の2家に分かれました。

戦国時代の栗田氏(里栗田)は武田信玄の配下の武将となりました。信玄が善光寺を甲府に移すことができたのはそのためで、栗田氏は善光寺とともに甲府に移りました。

栗田氏の子孫には、庄内藩士(山形県)となった家と、水戸藩士(茨城県)となった家がありました。水戸藩栗田家には、先祖伝来の仏像がありました。この仏像が真の善光寺本尊だとも言われたことから、柳沢吉保によって善光寺に寄進され、現在は十夜仏と呼ばれて、毎年秋の十夜の期間に善光寺本堂に安置されています。

## 栗田城跡の発掘

栗田城の周辺では何度も発掘が行われ、興味深



栗田城跡にまつられた水内惣社日吉大神社

い遺物が出土しています。平成2年(1990)には、神社東側のマンション建設予定地で発掘が行われ、カワラケ、陶磁器、中国の古銭などが大量に出土しました。中世の城館の本丸跡ならではの出土品です。

神社の南西に隣接する「栗田ふれあい会館」の建設に伴う平成25年(2013)の発掘では、小金銅仏の出土が目されました。これは一光三尊の善光寺仏の中尊で、善光寺を支配した栗田氏にふさわしい出土品でした。

## 水内惣社日吉大神社

図にもあるように、明治時代に栗田城跡の土塁上にまつられていたのは、栗田大元神社でした。

その一方で、栗田村には妻科村内に飛び地(現南石堂町)があって、栗田氏がまつた山王社がありました。そのためその一帯は「山王」という地名で呼ばれました。山王小学校の校名もこれに由来しています。この山王社は、嘉永6年(1853)に水内惣社日吉大神社と改称しました。

明治41年(1908)に旧栗田村内の5社が1つに合祀され、改めて栗田城跡の土塁上にまつられました。この時に神社名は、水内惣社日吉大神社が用いられました。一大勢力を誇った栗田氏にふさわしい、立派な社号です。

3月号は「横山城跡」の予定です。

この頁は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫](#) すかい

◆日常生活の「悩みや不安」

「感じている」69% 「感じていない」20% 「分からない」12%

「日常生活の中で、悩みや不安を感じているか」を聞きました。

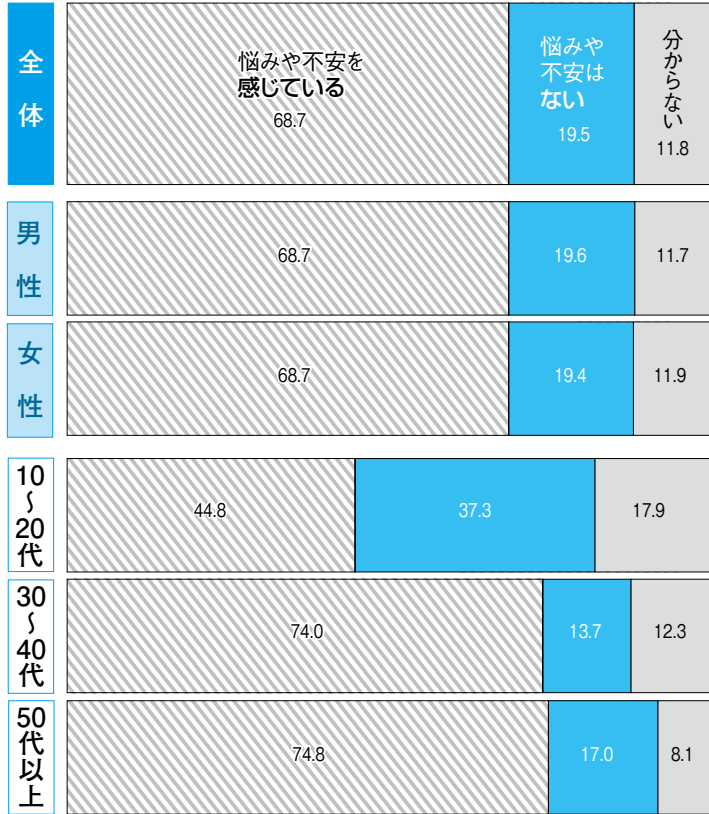
「悩みや不安を感じている」と答えた人は69%、「悩みや不安はない」は20%、「分からない」は12%でした。

男女別で見ると、「悩みや不安を感じている」人は、男性、女性ともに69%、「悩みや不安はない」は男性20%に対して女性は19%とわずか1割男性が高く、「分からない」は男性、女性ともに12%となりました。

世代別で見ると、「悩みや不安を感じている」人は年齢に比例して高く、10～20代は45%、30～40代は74%、50代以上は75%と30割差となりました。「悩みや不安はない」は37%、14%、17%の23割差となり、「分からない」は18%、12%、8%の10割差となっています。

(当金庫・2022年12月調査)

●日常生活の中で「悩みや不安」を感じているか (%)



●みなさまの税務相談のご案内 [3月]

(注)上の店名は開催場所、下の( )内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
3月 3日 金	城北支店 (若槻支店)	柳原支店 (東長野支店)	3月 17日 金	篠ノ井支店 (川柳支店)	川中島駅前支店 (川中島支店)
7日 火	南支店 (七瀬支店)	吉田支店 (古里支店)	22日 水	若穂支店	小布施支店 (中野支店)
9日 木	更北支店 (松代支店)	伊勢宮支店 (石堂支店)	23日 木	大門町支店 (桜枝町支店)	善光寺下支店 (権堂支店)
13日 月	墨坂支店 (須坂支店・太子町支店)	飯山支店 (山ノ内支店)	24日 金	本店営業部	
14日 火	大豆島支店 (長池支店)		29日 水	本 部	
16日 木	屋代支店 (稲荷山支店)	戸倉支店 (上山田支店・坂城支店)	30日 木	本 部	

